

Faure REQUIEM OP. 48 歌詞対訳

第1曲 Introit and Kyrie <入祭唱とキリエ> ※Kyrie はギリシャ語による。	
Requiem aeternam dona eis Domine: 休息を/ 永遠の / 与え/ 彼らに/主よ/	主よ、永遠の休息を彼らに与え、
et lux perpetua luceat eis. そして/光を/絶えざる/照らし給え/彼らに/	絶えざる光を彼らの上に照らしたまえ。
Te decet hymnus, Deus in Sion: あなたに/ふさわしい/賛美を/神よ/シオンにおいて/	神よ、主の賛美をふさわしく歌うのは、シオンにおいてである。
et tibi reddetur votum in Jerusalem. そして/あなたに/返される/誓いは/エルサレムにて/	そして誓いはエルサレムにて、あなたに返される
exaudi, orationem meam, ad te omnis caro veniet, 聴き給え/祈りを/ 私の/~に/あなた/すべての/肉体 は/来るだろう/	私の祈りを聴き給え。すべての肉体のむかうべきもの <死すべきもの>はみな、主にかえる。
Kyrie eleison. Christe eleison. 主よ/ 憐れみ給え /キリストよ/憐れみ給え/	主よ、憐れみ給え、キリストよ、憐れみ給え。 (3回ずつ唱える=三位一体の神をたたえるため)

第2曲 Offertorium <奉献唱> ※使用中の楽譜では Offertory となっている	
0 Domine Jesu Christe, Rex gloriae, おお/主である/イエス・キリストよ/王よ/栄光の/	おお、栄光の王、主イエス・キリストよ。
libera animas defunctorum de poenis inferni, 解き放ち給え/靈魂を/死者の/ ~より/ 刑罰と /地獄の/	死者の靈魂を救い出し、地獄の刑罰と
et de profundo lacu, de ore leonis, そして/~より/深い/淵/~より/口から/獅子の/	底知れない 深い淵とから救い出し、獅子の口から 解き放ちたまえ。
ne absorbeat tartarus, ne cadant in obscurum. ~ないように/飲み込む/冥府に/~ないように/落ちる/闇に/	彼らを ^{よみ} 冥府に落とさず、闇に投げ給うな。
Hostias et preces tibi domine laudis offerimus; 生贄=キリストの体とされるパン/と/祈り/あなたに/主よ/ 称赞の/私達は捧げ奉る/	主よ、称讃の生贄と祈りとを、我らは主に捧げ奉 る。
tu suscipe pro animabus illis, あなたは/受け入れたまえ/~のために/靈魂/これを/	本日記念する靈魂のためにこれを
quarum hodie memoriam facimus; その/ 本日 /記念する / ~する/	受け入れたまえ。
fac eas, Domine, de morte なしたまえ/それらを/主よ/~から/死から/	主よ、かれらを死から

transire ad vitam, Quam olim 移したまえ/ 生命へと/ このように/その昔/	生命へと移したまえ。主がその昔
Abrahae promisisti et semini ejus. アブラハム/ 約束した/そして/子孫とに/その/	アブラハムとその子孫とに約束し給うたその生命。
Amen. アーメン	アーメン<そうであるように願う>

第3曲 Sanctus <感謝の讃歌>	
Sanctus Sanctus 聖なるかな/聖なるかな/	聖なるかな 聖なるかな
Sanctus Dominus Deus Sabaoth. 聖なるかな/ 主よ/ 神なる/ 万軍の/	聖なるかな、万軍の神なる主。
Pleni sunt coeli et terra gloria tua. 満つ/~である/ 天と/そして/地に/栄光の/主の/	主の栄光は天地に満つ。
Hosanna in excelsis. ホザンナ<称賛を>/ ~に/いと高き所/	天のいと高き所にホザンナ。<称賛を>

第4曲 Pie Jesu <ピエ・イエズ>	
Pie Jesu, Domine, dona eis requiem, 優しい/イエスよ/主よ/与え給え/彼らに/休息を/	主よ、やさしきイエスよ、彼らにやすみを与え給え。
dona eis sempiternam requiem. 与え給え/彼らに/永遠の / 休息を/	彼らに永遠の休息を与え給え。

第5曲 Agnus Dei <平和の讃歌>	
Agnus Dei, qui tollis peccata mundi. 子羊/ 神の/その人は/除きたもう/罪を/ 世の/	神の子羊、世の罪を除きたもう主よ、
dona eis requiem 与え給え/彼らに/休息を	彼らに休息を与え給え。
Lux aeterna luceat eis, Domine, 光明を/永遠の/輝かせ給え/彼らに/主よ/	主よ、永遠の光明を（彼らの上）に輝かせ給え。
cum sanctis tuis in aeternum, quia pius es. ~とともに/諸聖人/あなたのもとに/永遠に/~なので/慈悲深き主よ/	とこしえに、あなたの聖人らとともに慈悲深き主よ。
Requiem aeternam dona eis, Domine, 休息を/ 永遠の / 与え/ 彼らに/主よ/	主よ、永遠の休息をかれらに与え、
et lux perpetua luceat eis. そして/光を/絶えざる/照らし給え/彼らに/	たえざる光を彼らに照らし給え。

第6曲 Libera me <リベラ・メ>	
Libera me, Domine, de morte aeterna. 解き放ち給え/私を/主よ/〜から/ 死 /永遠の/	主よ、私を永遠の死から解放し給え。
In die illa tremenda, 〜に/日に/ かの/ 恐ろしい/	かの恐ろしい日に。
Quando caeli movendi sunt et terra, 〜の時/ 天が /震え動く/〜である/そして/地が/	天地がふるえうごくその日。
dum veneris judicare saeculum per ignem. 〜のとき/来るだろう/裁くために/この世を/もって/火を/	主が、この世を火で裁きに来給う時
Tremens factus sum ego, et timeo, 震える/ 〜された/ 私は/ そして/おののく/	私は、来るべき裁きと
dum discussio venerit. atque ventura ira. 〜の時に/裁きが/ 来るだろう/さらに/来るだろう/怒りの/	怒りとをもって震えおののく。
Dies illa, dies irae. calamitatis et miseriae; 日 / その / 日 / 怒りの/ 禍い / そして/ 悩み/	その日こそ怒りの日、災いの日、悩みの日
dies illa, dies magna et amara valde. 日 / その / 日 / 大いなる/そして/悲嘆の/深い/	その日こそ大いなる悲嘆の日
Requiem aeternam dona eis, Domine, 休息を/ 永遠の / 与え/ 彼らに/ 主よ/	主よ、永遠の休息を彼らに与え、
et lux perpetua luceat eis, Libera me, domine. そして/光を/絶えざる/照らし給え/彼らに/解き放ち給え/私を/主よ/	たえざる光を彼らの上に照らし給え。

第7曲 In Paradisum<天国にて>	
In paradisum deducant angeli; 〜に/天国に/連れて行くように/天使たちが/	天使らが、あなたを天国に連れて行くように。
In tuo adventu suscipiant te martyres, あなたが/到着するとき/ 出迎え/あなたを/殉教者たちが/	あなたがそこに着くとき、殉教者たちがあなたを出迎えて
et perducant te, in civitatem sanctam Jerusalem. そして/誘うように/あなたを/ 都に / 聖なる /エルサレムの/	エルサレムの聖なる町に誘うように。
Chorus angelorum te suscipiat, むれ<合唱>/天使の/あなたを/出迎え/	天使のむれがあなたを出迎え
et cum Lazaro quondam paupere そして/ラザロの/ かつて / 貧しかった/	かつて、貧しいラザロの入ったその
aeternam habeas requiem. 永遠の/ 導き給わんことを/休息に/	永遠の休みに導かんことを